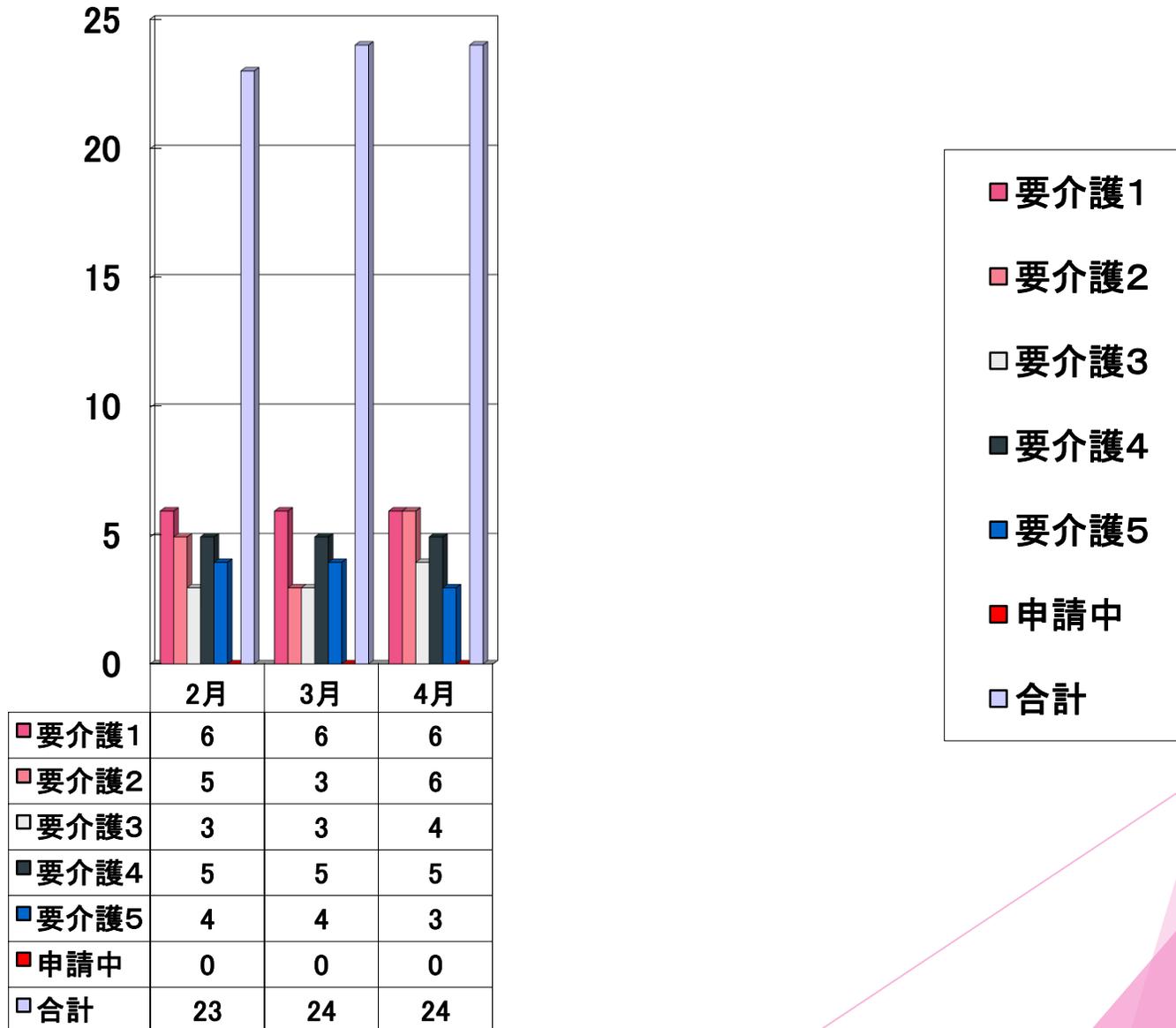


第45回運営推進会議

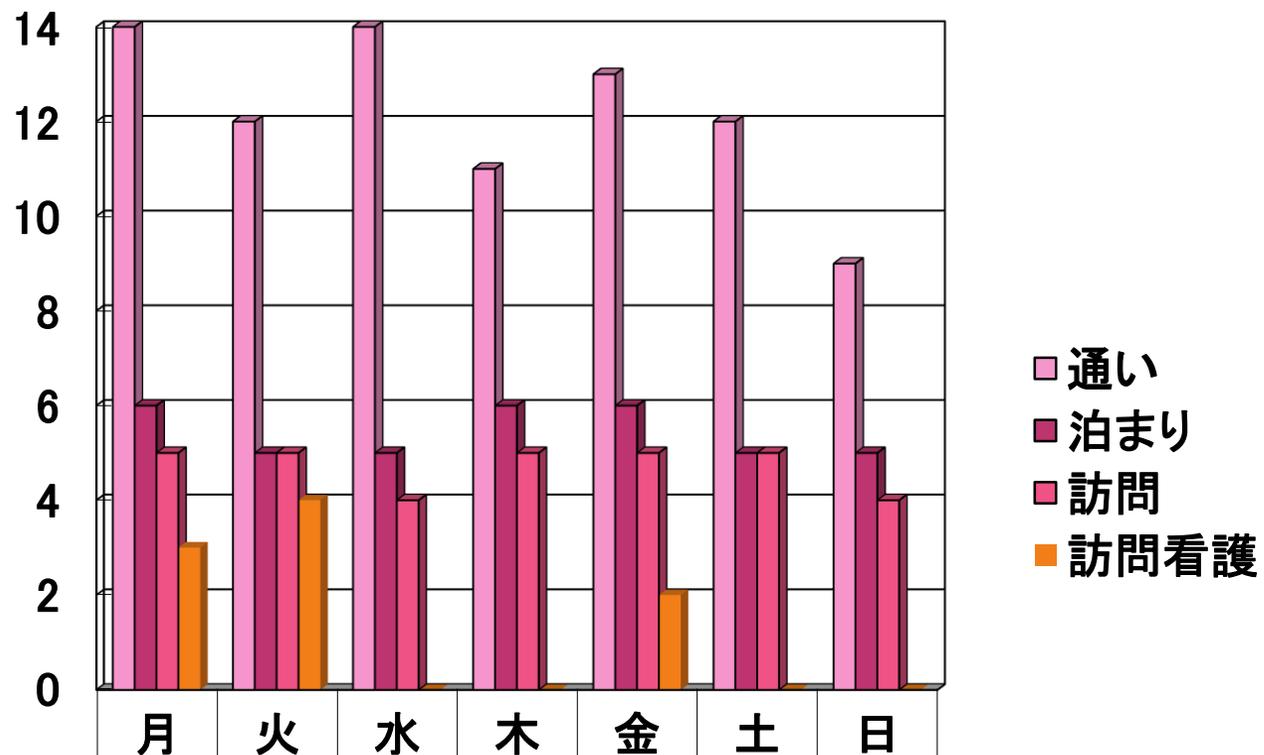
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者の紹介
- 看取りの報告
- 活動報告
- サービス評価
(別紙サービス評価公表用紙あり)

登録利用者数

令和2年2月～令和2年4月



令和2年3月 曜日別利用者数



通い	14	12	14	11	13	12	9
泊まり	6	5	5	6	6	5	5
訪問	5	5	4	5	5	5	4
訪問看護	3	4	0	0	2	0	0

新規ご利用者

- ▶ W・H様 男性 84歳 要介護5→4 アルツハイマー型認知症 妻と二人暮らし 2/12利用開始
- ▶ R2.2/12木戸病院を退院し、泊まり利用。飲食できず、毎日点滴し寝たきりの状態であったが、
- ▶ 退院し、家族と過ごす時間を増やし飲食を試みたり、帰宅を目標とした。
- ▶
- ▶ M・N様 女性 77歳 認知症 独居 2/19利用開始
- ▶ 物忘れがひどくなり、生活状況がわからず心配な為、訪問利用を週3回から始めたが、訪問時に
- ▶ 倒れる事があり、現在は毎日訪問している。血圧測定、冷蔵庫・ゴミの仕分けの手伝い、週1回は
- ▶ 一緒に掃除をしている。何回かお茶飲みに来られたり、梅見外出に参加された。
- ▶
- ▶ O・M 女性 91歳 要介護3 心不全, 2型糖尿病, 脳梗塞, 心房細動 3/12利用開始
- ▶ 夫と二人暮らしだったが夫婦とも高齢で介護が必要な状態となり、ショートステイと老人保健施設
- ▶ に入所していた。夫はるぴなすの泊まり利用し、子ども達が来てくれる時に帰宅していた。
- ▶ 夫と同じ所で過ごせるように、3/12老健を退所し、泊まり利用開始。同じく子ども達が来てくれる時に帰宅する事にした。

看取りの報告

W・H様

るぴなすへ来てから、口から水分摂取、プリンを食べ、奥様の作ったミキサー食を食べる事ができていた。

下痢や発熱があったが回復し、リクライニング車椅子に乗る事もできた。

3/16 再び下痢あり、食事中止。水分の飲み込みができなかった。

3/17 深夜2時頃より呼吸変化あり。4:55永眠。

サービス評価

看護小規模多機能型居宅介護事業所は、運営推進会議をおおむね2月に1回以上開催することと規定されているがサービスの改善および質の向上を目的として、自ら提供するサービスについて評価・点検（自己評価）を行うとともに、自己評価結果について、運営推進会議等において第三者の観点からサービスの評価（外部評価）を1年に1回以上行う。

サービスの質の評価の客観性を高め、サービスに質の改善を図ることを目的とし、結果の公表を行うことが義務付けられており、利用者に対するサービスの提供にあたり、職員に対し、十分意識付けを図ることが求められている。

サービス評価

スタッフ個別評価



事業所自己評価



外部評価



評価の公表

- これまでの取り組みやかかわりを自らに向き合い、振り返ります。個人作業（11月中旬まで）

- 各自が取り組んだ「スタッフ個別評価」を持ち寄り、全体で話し合い、それぞれの考えや実践、項目に関する捉え方の違いなどを話し合い、その中から改善の方策を考えます。事業所のコミュニケーションの場ともなります。（12月上旬～下旬）

- 運営推進会議で話し合います。（2月～3月）
「できている」「できていない」という結果のみで判断するだけでなく、事業所が真摯に自らの取り組みを振り返り、質の向上を図っているか確認します。

地域が日頃感じていることと事業者自身が考えることとの違いについて話しあい、事業所の課題や今後の方向を見出します。（3月）

サービス評価のポイント

- ◆スタッフ全員が自らを振り返り、自己評価を行うこと（スタッフ個別評価）
- ◆スタッフ個別評価とともに、事業所全体で振り返り、話し合い、共有すること（事業所自己評価）
- ◆運営推進会議で、事業所自己評価の結果を報告し、かつ、地域からの意見を頂き、運営に反映させること
- ◆自己評価及び運営推進会議による評価を毎年繰り返しながら、質の向上を図っていくこと
 - ⇒ 評価をスタッフ全員で行い話し合うことでチーム作りになり、提供しているサービスの確認になる
 - ⇒ 地域の方々より事業所に対する理解が促進される
 - ⇒ 外部評価を行う運営推進会議に行政や地域包括支援センターが参加することで、理解が促進される

～地域との関わり 地域共生社会に向けて～

- 参加と協働による地域デザイン

地域の実情に合わせた、支える側、支えられる側の関係性を越えた話し合い

- 地域包括支援センターのブラン奇的存在

我が事、丸ごと地域共生社会実現のための拠点



ありがとうございました(*^_^*)